

●竹蛇籠用の真竹が納品されました。

今年の中聖牛製作設置について、国交省淀川河川事務所の意向は増水時に流れ橋への負荷が心配なので新增設補強について異論があり、許可できないとの返答がありましたので、昨年同様竹蛇籠による将棋頭式の設置は許可する方法で検討しているとされた。そのため真竹 100 本程度と栗石 5 トン程度を要望しておきました。9 月 28・29 日に京都府植物園で開かれる第 2 回京都いきものフェスで竹蛇籠製作講習会を開催するのに合わせて竹素材の準備作業が、21 日(土)午前中に竹割とひび入れと節とり作業を森島副理事長含む 3 名の皆さんで木津川玉水橋カルバートにて実行していただきました。

●同志社大学ボランティア支援室の 5 名の学生さんが里山農園にお越しになりました。 9 月 24 日

里山の会で用意した作業は周辺の樹木名を取り付ける作業を提案し、この日は 20 種類の樹木に名札をとりつけていただきました。桧杉だけでなくコナラやモミジ、ネムノキなどでした。そして急斜面になっている教育棟や観察棟への通路の階段を鍬やスコップ、木製の掛けや等を始めて使って修復が完成しました。そして最後に畑に畝を作り、溝を切って



冬大根の種を蒔き、水をやって一つの作業が終わりました。はじめての道具だったので苦労しながらの作業をよく頑張ってくださいました。希望する学生を集め、事前学習や下見をしてこの日の多面ご苦労された高橋さんから早速お礼が届きましたので、紹介いたします。

『昨日の里山農園での活動ではお世話になりありがとうございました。当日は森島様をはじめ、里山の会の方々に温かく迎えていただき、たくさんのお菓子などもいただきまして、学生たちも喜んでおりました。名札つけでは、たくさんのお木々を見回り勉強になっていたようです。階段の補修作業は、普段は使わない道具の使い方を教わりながら活動し、貴重な体験でとても楽しかったと学生から感想がありました。6 月頃から学生にとって何が良いのか、たくさんのご相談や下見などに対応いただき、本当に感謝申し上げます。学生に事前に目標の設定とそれに対する振り返りをシートに書いてもらうようにしておりまして、資料が集まりましたら、改めて共有させていただきます。私自身も、気持ちの良い秋風の中活動をさせていただき、里山に癒されながら引率させていただきました。至らない点もあったかと思いますが、改めてお世話になり有難うございました。簡単ではございますが、御礼申し上げます。』

●9 月 21 日(土)は延べ 24 人が 5 つの作業に精を出していただきました。

①里山農園の作業日で大村さんと金田さんが 24 日の朝市の準備を 9:30 からおこないました。

②真竹割り 9:30 から木津川玉水浜広場では竹門先生を筆頭に森島さんや太田さんが真竹割り（全長 7m）を進めていただき、割れた竹の節とりと罅（ひび）入れ（割った竹を曲げ易くする）を実行していただきました。真竹 20 本でかなりの作業量です。四分割や太いものは五分割して素材が 100 本できました。それでも 45mm の幅に整って割れていないので幅精製の手作業が残ってしまいました。

③仕掛けの組み立て 午後からは竹門先生の指導で10月6日の第2回親子魚釣り大会(次回から名称を「子供魚釣り大会」に改名する)に使用する仕掛けの組み立て作業が行われました。ここには竹門先生と太田森島福井さん以外に魚釣りのベテラン原さん矢放さん奥村さん、杉本さんが加わって20本分が出来上がりました。

④植物生育調査 10:00 から植物部会の伊藤千恵子さんを筆頭に5名のメンバーが木津川市加茂町から希少種の生育調査を弁当持ちで終日実施していただきました。

⑤展示物ポスター いきものフェスでの展示物ポスター作りが里山事務所で進められました。

これまでの里山の会として結成28年間で大切な作業をそれぞれ上記のように5つに分かれて実行するという事は一度も無かった事です。高齢化と体力の後退のなかで凄いことをやってのけたものです。これは今年からそれぞれの得手を生かしてイベントをサークルで実行していくことを目指してサークル部会を開催してきたので、それぞれが責任をもってイベントを推進させようという自覚がエネルギーを産み出しているのではないのでしょうか。息切れしないように頑張ってください。

●10月6日の第2回親子魚釣り大会の準備作業。福井さんからのメールを紹介します。

皆様今日は曇り空で助かりました。午前中、福井はたまり通路と釣り場の邪魔している草刈り、竹割を太田、森島、竹門先生、ワンドから帰った福井が合流、午後1時から竹門先生の指導の下、太田、森島、福井、奥村、杉本、田中、矢放、原は仕掛け作り…原理はわかってもやってみると老眼の身にはなかなか難しい。奥村さんは仕掛けを次々と作るのですが、あとはなかなかなので残りの仕掛けは竹門先生が つくるわ!ということになりました。自分のつくった竿を持ち、ワンドで魚釣り、Yくん(1年)は軽トラの荷台にご満足。さて、釣ろう!!とみみずの餌を出すと…なんと福井がバイクにおいたままだったので暑さで死んだり溶けたり。へらへらのみみずを何とかわけて魚釣り。竹門先生は大口バス1 ブルーギル5 さすがです。他の者で大口バス1 ブルーギル3。大口バスは20センチほど。ブルーギルは10cm以下。短時間で少ない餌でよく釣れたものです。竹門先生は唐揚げにして食べるそうです。おいしそう。ミミズは保冷バックに入れること。ミミズは一匹を4~6に小さく分けて針にチョココンとつける程度が良いとのこと。練習をして色々わかりました。よかったです。竹門先生、綾先生には竿トラブル対応をしてもらうことになりました。有意義な半日でした。



●竹サインペンをいきものフェスで大いに販売宣伝する為にチラシを工夫!

昨年(2019年)の第1回いきものフェスで湯本先生から高く評していただきましたので、広く打って出るためのために木下勉さんは考えに考え抜いたうえに ご家族の皆さんのお知恵を絞りだしてこんなチラシが出来ました。竹とパンダを結び付ける工夫に気付き絵も描いていただきました。

●第2回いきものフェスのメイン発表とされている取組での初日27日の開会挨拶直後の13時20分から「カスミサンショウウオの保全活動」を太田敏之さん、2日目28日の最終報告としての15時10分から「木津川の魚のお話」を福井波恵さんが発表されることになっています。多くの皆さんのご清聴をお願いいたします。



いきものフェスでは里山の会は子どもたちを中心に「松かさツリー」づくりを指導します。また「竹サインペン」の販売宣伝を繰り広げます。そして竹蛇籠製作体験を中央広場（昨年と同じ場所）でプログラムにしたがって実行いたします。里山の会の取組はすべて屋外での展開ですので簡易テント5つと丸椅子20個などを持ち込む軽トラックを用意して参加いたします。里山の会が総力を挙げたイベント参加となりますので、ぜひ多くのご来場で盛り上げていただくことを期待しています。宜しくお願いします。

●国交省淀川河川事務所環境課長（椿さん）が中聖牛設置場所と魚釣り予定のワンドを視察されました。9月24日（火）

里山の会からは大村理事長、太田理事、山村常務理事が同行しました。今年は流れ橋の橋脚に中聖牛の柱が障害物となるとの意見が所内で出ているので中聖牛の新設は許可出来ない事と同時に既設の修復の検討をとの提案がありました。里山の会からはワンド間の通路整備や駐車場からのワンドへの通路整備に加えて、ワンド内のヘドロ除去の必要性、そして広大な玉水浜の高水敷の跡地利用を広域的な位置付への努力を強く要望いたしました。



●10月6日（日）に第2回親子魚釣り大会を開催いたします。

この取り組みは国の天然記念物であるイタセンパラが淀川水系において自然に生息していたのが木津川で、当時のワンドがそのまま残っている所以で生息を復元しようと肉食魚のブルーギルやブラックバスなど外来魚の駆除を目指しての取組です。こぞってご参加を求めています。募集定員は20組として現在14組を受け付けています。今年は本格的な釣り大会（競技）とするために、竿などの道具は主催者側が準備した道具を使用いただこうとしています。

第2回木津川 親子魚釣り大会

木津川にイタセンパラの復活を目指す取り組み

場所:京都府綴喜郡井手町 玉水橋 徒歩 10分

2024年10月6日（日）9:00~12:00

どんな生き物がいるのかな?

木津川は淀川水系中、イタセンパラが最後まで生息していた川です。やましろ里山の会ではワンド・タマリの環境を良くして、天然記念物のイタセンパラの復活を目指しています。昨年初めての魚釣り大会を親子70名で行いました。オオクチバス、ブルーギルを中心として様々な魚が釣れました。タナゴ類もいることが分かりました。魚釣りを通して木津川的环境について考えていきましょう。



受付 9:00
参加対象

玉水橋 東詰め 北の広場 （駐車場有）
小学生・中学生 小学生は保護者同伴のこと 20組

初心者大歓迎



持ち物

釣り道具は里山の会で準備したものを使ってもらいます。
40本あります。エサ・バケツも準備します
飲み物 帽子 タオル
足元のしっかりした靴 着替え
★熱中症対策をしっかりして下さい

申し込み方法 インターネット(スマホ等)の専用フォームから申し込んで下さい。
<http://8046satoyama.starfree.jp/fishing/event-index.php>

申し込みフォーム



参加費無料



●秋の植物観察会 10月5日(土) 10時ごろから 普賢寺小学校付近集合

打田地域を観察する予定です。今年は早くも環境パートナーシップの皆さんがぜひ参加したいと申し込みがあります。参加人数制限はしていませんが少人数でしっかりした学習が行えると思います。講師はお馴染みの光田重幸先生にお願いしています、

秋の植物観察会 参加者募集

暑さ寒さも彼岸までと昔からの例えですね。今年の夏をどのようにして過ごされてきましたでしょうか。少し気候が変わり始めてきたように思いますが、いかがでしょうか。

ところで木津川の草たちは異常に成長しているように思います。中聖牛へのワンドの通路は刈り取っても刈り取っても異常なほど物凄い成長を見せています。山手の植物は異常気温にどのように対応しているのでしょうか。

この秋の観察会は山手を尋ね見たいと思います。去年は京田辺市の市役所近くの竹藪などを歩きましたが、少し山手の打田地区辺りを調べてみようと思います。環境パートナーシップの皆さんがメンマなど竹を食べ物とするところに強い関心を持っておられるとお聞きしましたので、そういったところから食物を調査することも面白い観点視点でもありますから光田先生のご参加を得て楽しみたいと期待しています。

ここへの交通の便として道路は整備されていますがバスなどの運行は大変不便でもありますので、配慮が必要です。ご注意ください。ご参加ください。

10月5日(土)

集合場所	普賢寺小学校
集合時間	午前 10 時 時間厳守 奈良交通バス 三山木駅発高船行き 9:29 時間になれば移動しますので遅刻者をお待ちできません
申し込み	10月3日まで
申し込み先	里山の会へのメール・氏名 住所 年齢 電話番号
当日の飛び込み参加	ok(資料保険なし)
講師	光田重幸 京都植物会代表 京都府レッドデータ選定委員
案内助手	伊藤千恵子 里山の会植物部会部長
持ち物	弁当 水筒 帽子 筆記具 カメラ
服装	帽子長袖の上着 長ズボン しっかりした靴 健脚向き
参加費	無料
保険	各自で一日保険加入の事

秋の七草 ハギ クズ ナデシコ オミナエシ フジバカマ キキョウ (彼岸花)



主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会 事務所:京田辺市田辺深田 15
電話 0774-64-4183 メール fddb257@yahoo.co.jp